

# 青指ニュース

第 148 号  
 発行者  
 河内長野市青少年指導員連絡協議会  
 広報部

<http://www.kawachinagano-seisyonen.org/~seishikyo/>



## 河内長野市民まつりに参加 (5月10日)

今年も焼きそば・フランクフルト・バルーンアートの出店で参加しました。

担当校区は西中学校と長野中学校、参加協力いただいた青指メンバーは新年度初行事ということもあってか、60名もの多数の参加がありました。

当日は好天にも恵まれ、用意した1本100円のフランクフルト400本は12時頃に、200円の焼きそば880人分も終盤焼きそばの材料で、ソース・塩コショウ・割箸が不足し、急遽買いに走るという場面もありましたが、1時半頃には完売できました。

今年は主材料のキャベツが天候の影響か？価格高で(1玉500円)採算を心配していましたが、

おかげさまで収益も確保できました。

例年時間いっぱいまで、子どもたちの熱気が続くバルーンは、終日大勢の子どもたちでにぎわいました。

5月にはめずらしく厳しい暑さの中、前日の準備を含め皆様ご苦労様でした。



## アウトドア研修開催 (5月31日)

滝畑ふるさと文化財の森センターにて、青指42名・リーパル12名・事務局1名・計55名の参加で開催しました。

研修プログラムは10時集合

体育館で・・・市危機管理課による応急処置の講習、足や腕骨折の場合、頭部けがと簡易担架による搬送訓練を実施。

センター広場自炊場で・・・全員で火のおこし方・ごはんの炊き方の講義を聞いた後、班別にごはんとカレーを作り昼食。

再度体育館で・・・前田レク部長の指導で全員ロープを使って「ロープワーク」の練習に取り組みました。

来る8月の「学びの森・ジュニアキャンプ」を控えて、青指・リーパル共大変勉強になる有意義な研修でした。



## リーパル遠足キャンプ (6月13~14日)

リーパル主催の遠足キャンプが、市内の小学生を対象としてふるさと文化財の森センターで開催されました。

110人の応募者を34人に絞りましたが、キャンセル等により最終的に参加者数は31人となりました。心配していたお天気も日中は曇り空ながら雨も降らず無事終了しました。



夜の道を歩いてキャンプファイヤーに行き、新しい友達と同じ部屋に泊まり、自分たちで作ったお弁当を持って自然の中を駆け回って遊んだ2日間は、きっと子どもたちの貴重な思い出になると思います。

今後も子どもたちの様々な体験活動を手助けしていきたいです。



## 救急救命講習に参加して (7月5日)

新人の方や講習から時間のたった方 19 人が受講しました。

河内長野市消防本部から 2 名の方が来ていただいて長時間にわたる講習がスタートしました。

講習はビデオによる解説と実技の繰り返しです。まずは応急処置の重要性からです。

電話して救急車が来るまでに平均 6 分かかりますが、心肺停止の場合、患者をそのまま放置したのと居合わせた人が応急処置をしたのでは、初期では救命率に 30 ポイントもの差があります。

時間とともにその差が縮まり生存率も低下しますが、初期の対応がとて大切なのです。心肺停止では 15 秒ほどで脳に酸素が送られなくなりますので、時間が経過すると、たとえ心肺が動き出したとしても意識が戻らなかったり、後遺障害が出やすくなります。

そのため、そのような状況に遭遇した時は、ただちに救急へ連絡するとともに、AED の手配をしたうえで、速やかに心肺蘇生法を実施します。胸骨圧迫 30 回・人工呼吸 2 回を繰り返し行います。

AED が到着したら、速やかに装着し、機械の指示に従ってスイッチを押し除細動を行います。

「細動」が起きている状態とはいわゆる「心臓発作」状態です。

AED が普及してきてまだ 10 年程度だと思いますが、日本で AED が認められたのは運動会で心臓発作のため娘を亡くした保護者の方の熱意だったそうです。

講習ではこれら 2 つの実技を全員が行いましたが、実際の場面では簡単ではないかもしれません。嘔吐をしている場合や血がドクドク出ている場合などは、躊躇してしまいます。

しかし、何もしないより勇気を持って行うことが必要なのです。



## 長野中学校区

### 楽習室「手作り風鈴」

6月20・27日(土)

小山田小学校は 20 日 51 名、長野小学校は 27 日 69 名の参加者がありました

当日、青指のメンバーと保護者の協力のもと多数の参加者でしたが

中心のポルトに硝子玉が当るように試行錯誤しながらテグスに硝子玉をつけていきました。

それぞれに個性のある風鈴が出来上がり、教室に笑顔が溢れ楽しい 2 時間を過ごしました。色々お手伝い頂いた方々ありがとうございました。





## 千代田中学校区

### 楽習室「サツマイモの植え付け・ロープワーク」

6月14日(日)

午前9時から楠小学校の児童と保護者、10時半から千代田小学校の児童と保護者の2部で実施しました。

サツマイモの苗は購入してすぐに植えるという説としばらく置いて根が出てから植えるという説があるそうで、昨年は前説、今年は後説で植えました。

参加者に苗を配り、植え方の実演を見てもらいながら説明し植え付け、水やりをしました。今年も自分で植えた苗に名前を書いたラベルを付けて成長の楽しみとしました。

植え付けが終わるとロープワークを実際にどんな場面で使うのかも説明しながら実演し、それぞれで、ふた結び・自在結び・もやい結びをしてみました。

子どもたちは「えー？どうするん？」「難しい～」と口々に言いながらも、すぐに結べるようになって何度も結んで楽しんでいました。

参加者:楠小学校児童と保護者 21 人、千代田小学校児童と保護者 31 人。



## 東中学校区

### 楽習室「ペットボトルロケットを飛ばそう！」

5月30日(土)

天見小学校の子どもたちと、ペットボトルロケットを作って飛ばして遊びました。

参加者は保護者を含めて9名でしたので、アットホームな雰囲気楽しく工作できました。

圧力に耐えられる炭酸飲料用のペットボトルを1人当たり2個使って、ロケット作りをします。みんなどうすれば良く飛ばすか、カッコ良くなるかを考えながら工夫をこらして作りました。

完成したら運動場に出て飛ばします。ロケットの発射台は、青指メンバーのお手製の自信作です。空気の圧力がしっかりとかけられ、ちょうどよい角度で発射されたロケットがよく飛びました。

また、水を入れるとすごくよく飛ばすようになりますが、横についている青指のおっちゃんもびしょ濡れになりました。何回飛ばしてもおもしろくあっという間に時間が過ぎて行きました。

### 小中学校の先生方との懇談会

6月16日(火)

今年も校区内の3つの小学校(川上、三日市、天見)の校長、教頭と東中学校の校長、教頭、生徒指導の先生、計9名と青指12名とで懇談会を行いました。

学校側からは行事等の取り組みや最近の子どもたちの近況が、青指側からは主な青指活動の状況が、それぞれ紹介されました。

学校としても地域とのつながりを大切にしていること、子どもたちに少しでも多くの体験活動の機会を与えたいと思っており青指や地域への期待が大きいこと、課題を抱える子どもたちや家庭の近所の人々の手助け目配りが重要と考えていること、など私たち青指にとっても参考になる意見交換となりました。また、先生方にも青指が日頃どのような活動をしているかを知ってもらうことができました。



## 西中学校区

### 楽習室「みたらし団子作り」

7月4日(土)

青指メンバー泰中(加)さんの指導で、天野小学校にて育成会と合同で開催、参加者18名でした。

まず白玉粉を練り団子を作り、湯通ししたのちガスバーナーで焦げ目を作って団子の完成です。

続いてタレ作りにかかり、材料の水・片栗粉・みりん・醤油・砂糖をゆっくり透明になるまで煮込みました。

出来上がったタレを団子にかけていただきましたが、自分で作った「みたらし団子」の味は格別でした。

来週は高向小学校で開催し参加者50名の予定です。



## 美加の台中学校区

### 4団体交流会 4月18日(土)

美加の台では恒例の4団体交流会を開催しました。

これは小学校PTA、中学校PTA、健全育成会、青少年指導員の4つの団体が新年度の始まりに合わせて顔合わせを致します。

各団体の自己紹介に始まり、食事を終えるとそれぞれのテーブルから移動して懇親を深めます。小、中のPTAの方は初めて会う方もいます。笑顔で挨拶をしながらこの一年皆さんで協力しあって美加の台を盛り上げようと話が弾んでいました。

一小、一中ならではの情報交換も含めて、楽しい時間はあっという間に過ぎました。最後は皆さんで片付けをして一本締めにて無事に終わりました。



### 子ども安全サポート全体会

6月21日(日)

今年も、登録している皆さんが集う大切な取り組みである『美加の台 子ども安全サポート全体会』

が開催され、地域の大人と子ども99名が集まりました。

地域教育協議会会長、小中校長先生の挨拶から資料の説明。

続いて、大阪府警本部から講師を招き『子どもの連れ去り防止プログラム』を、第3回の楽習室『おまわりさんと楽しく学ぼう!』として実施しました。

登場したのは元犯人の『ゆうかい するそう』。今は改心して防犯教室で活躍中。この日も、子どもたちに昔の手口を披露しながら、こんなことには気をつけてね!と注意喚起。

しかし、迫力があすぎて、泣き出す子どもが続出。付き添いのおかあさんは大変でした。

最後は、子どもも参加して10人程度の班に分かれて、安全に関する日頃の思いを話し合い、終了。

今年も、企画・資料作成から当日運営まで大活躍の美加の台青指メンバーでした。

